

種目（書写）

書名 項目	新編 新しい書写 $\frac{2}{}$ 東書 	
教育基本法、学校教育法の下、小学校学習指導要領の教科の目標とのかかわり	○学習事項を繰り返し意識させることで、書写の基礎・基本的な知識が確実に身に付くよう配慮されている。 ○各学年に、童謡や古文・漢文などの「伝統的な言語文化」に関連する文章をなぞり書きさせる教材を設定している。	
特色	内 容	<p>＜基礎的・基本的な知識・技能を習得する工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毛筆教材は、硬筆から導入するようになっている。 ・「調べよう」で、書写の原理・原則を発見させられるように工夫されている。 <p>＜思考力、判断力、表現力等を育成する工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「調べよう」で学習内容をつかみ、さらに「確かめよう」の文章を読むことで、書写の原理・原則を一般化し、他の文字にも応用できるように工夫されている。 <p>＜主体的に学習に取り組む工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・書き込み欄が多く、練習帳の機能をもたせてある。ここで、学習したことの定着を図ることができる。 ・毛筆教材の左側に学習事項のインデックスが設けられており、関連する既習事項や参照ページが記されている。主体的に学習を進めるのに適している。 <p>＜国語に対する関心を深め国語を尊重する態度を育てるための工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全学年に1ページずつ、他教科で活用できるノート例が示されている。また、高学年の「生活に広げよう」には、各行事に合わせて書写を活用する場面が紹介されている。書写で学習したことを生活の中に生かす態度を養うことができる。 ・全学年に、童謡や古文・漢文などの伝統文化に親しむことのできる、なぞり書き教材が用意されている。
	資 料	○1年生では、楽しく学習できるよう、動物のイラストの中になぞる線がある。 ○文字の説明では、特に注目すべき所をズームにして説明している。 ○学習の振り返りでは、動物のイラストの中に○△があり、その中に書き込むようになっている。
	表記・表現	○判型の横幅が広がっている。 ○朱墨や墨の濃淡で、筆運びや穂先の位置が分かりやすく表記されている。 ○簡潔明瞭な指示で、大切な言葉は朱で表現されている。
総 括	○判型の横幅が広がったワイドな紙面となっていて、書き込み欄が多くなっている。低学年で点画・筆使い、中学年で字形の整え方、高学年で配列・点画のつながり、という学習設定となっている。教材は、「練習」「生活に広げよう」「まとめ」の構成となっており、基礎基本の徹底、応用、確認の学習の流れとなっている。	

種目（書写）

<p>書名 項目</p>	<p>みんなと学ぶ 小学校書写 11 学図</p>
<p>教育基本法、学校教育法の下、小学校学習指導要領の教科の目標とのかかわり</p>	<p>○獲得した書字の技能を、学習の場、生活の場において用いることができるように、実感の伴う活用を場を例示している。 ○伝統的な言語文化の古典の部分を、題材または視覚資料として、各学年に掲載している。</p>
<p>特色</p>	<p>内容</p> <p><基礎的・基本的な知識・技能を習得する工夫> ・めあてや学習内容が的確に示されており、どの点に気をつけて書けば良いかが明確である。 ・筆の写真を多く使っている。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成する工夫> ・葉書の書き方やメモの取り方、資料の書き方などのページが豊富で、書写で学習したことを様々な場面で活用できるように工夫されている。</p> <p><主体的に学習に取り組む工夫> ・学習の進め方（観察→試し書き→自己評価・課題の見出し→練習→まとめ書き→振り返り）が提示されており、主体的に学習できるように工夫されている。</p> <p><国語に対する関心を深め国語を尊重する態度を育てるための工夫> ・俳句や短歌、連詩などを扱ったページがあり、伝統文化にも親しめるようになっている。 ・筆や墨、和紙ができるまでが紹介されており、書写に関する道具に興味をもてるように工夫されている。</p> <p>資料</p> <p>○楽しく学習できるよう、1，2年生の評価欄には、シールが貼れるようになっている。 ○キャラクターによる、吹き出しでポイントを説明している。 ○裏表紙に、この教科書でめざすこと（単元、内容、めざすこと）が載っている。 ○動物イラストの動きで、「とめ、はね、はらい」などを説明している。</p> <p>表記・表現</p> <p>○毛筆で学んだ字形などを、硬筆にも生かして書き込む欄が多い。 ○文字の大きさや配列を、色分けなどして意識させる表現になっている。</p>
<p>総括</p>	<p>○書写の技能を獲得するに至るプロセス（「観察」→「試し書き」→「自己評価」→「練習」→「まとめ書き」）が明示されている。児童が興味をもって学習に取り組めるよう、「えんぴつはかせ」「筆博士」のキャラクターを登場させている。また、1，2年生においては、自己評価欄に貼る「できたかなシール」が設けられている。</p>

種目（書写）

<p>書名 項目</p>	<h1>小学生の書写</h1> <div style="text-align: right;"> <p>15 三省堂</p> </div>						
<p>教育基本法、学校教育法の下、小学校学習指導要領の教科の目標とのかかわり</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○獲得した書字の技能を、学習の場、生活の場において用いることができるように、実感の伴う活用を場を例示している。 ○低・中・高学年とそれぞれの発達段階を考慮して、効果的に学習が行えるよう、内容と構成が工夫されている。 ○伝統的な言語文化の古典の部分を、視覚資料として各学年に掲載している。 						
<p>特色</p>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td data-bbox="209 533 391 1256" style="text-align: center; vertical-align: middle;"> <p>内容</p> </td> <td data-bbox="391 533 1414 1256"> <p><基礎的・基本的な知識・技能を習得する工夫> ○文字や線を指でなぞる活動を入れて、文字の書き方を習得できる工夫がされている。 ○姿勢や筆の持ち方・腕の動かしを体得できるようにしている。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成する工夫> ○どのように書いたら読みやすくなるか、目的や状況に応じてどのように判断して書けばよいのか等考えてみたことを実践して確かめるという学習の構造化を図っている。</p> <p><主体的に学習に取り組む態度を養う工夫> ○「書く→分かる→書いて確かめる→振り返る」という学びの手順が分かりやすく示されている。 ○学習したことを教科書に書き込める欄があり、振り返りができるようになっている。</p> <p><国語に対する関心を深め、国語を尊重する態度を育てるための工夫> ○目的や・相手を意識して書くなど、実生活に活用できるようになっている。 ○他教科・学校生活の中で書く活動の場面を取り上げている。</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="209 1256 391 1413" style="text-align: center; vertical-align: middle;"> <p>資料</p> </td> <td data-bbox="391 1256 1414 1413"> <ul style="list-style-type: none"> ○全体的に色が薄めで、目に優しい。イラストや写真が少なめである。 ○振り返りでは、1つのイラストと○印で、書くようになっている。 ○男の子と女の子が吹き出しでポイントを説明している。 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="209 1413 391 1563" style="text-align: center; vertical-align: middle;"> <p>表記・表現</p> </td> <td data-bbox="391 1413 1414 1563"> <ul style="list-style-type: none"> ○毛筆で学んだ字形などを、硬筆にも生かして書き込み欄が多い。 ○色や指示が明瞭になっている。 ○穂先や腕の動かし方を部分ごとに絵で示している。 </td> </tr> </table>	<p>内容</p>	<p><基礎的・基本的な知識・技能を習得する工夫> ○文字や線を指でなぞる活動を入れて、文字の書き方を習得できる工夫がされている。 ○姿勢や筆の持ち方・腕の動かしを体得できるようにしている。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成する工夫> ○どのように書いたら読みやすくなるか、目的や状況に応じてどのように判断して書けばよいのか等考えてみたことを実践して確かめるという学習の構造化を図っている。</p> <p><主体的に学習に取り組む態度を養う工夫> ○「書く→分かる→書いて確かめる→振り返る」という学びの手順が分かりやすく示されている。 ○学習したことを教科書に書き込める欄があり、振り返りができるようになっている。</p> <p><国語に対する関心を深め、国語を尊重する態度を育てるための工夫> ○目的や・相手を意識して書くなど、実生活に活用できるようになっている。 ○他教科・学校生活の中で書く活動の場面を取り上げている。</p>	<p>資料</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○全体的に色が薄めで、目に優しい。イラストや写真が少なめである。 ○振り返りでは、1つのイラストと○印で、書くようになっている。 ○男の子と女の子が吹き出しでポイントを説明している。 	<p>表記・表現</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○毛筆で学んだ字形などを、硬筆にも生かして書き込み欄が多い。 ○色や指示が明瞭になっている。 ○穂先や腕の動かし方を部分ごとに絵で示している。
<p>内容</p>	<p><基礎的・基本的な知識・技能を習得する工夫> ○文字や線を指でなぞる活動を入れて、文字の書き方を習得できる工夫がされている。 ○姿勢や筆の持ち方・腕の動かしを体得できるようにしている。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成する工夫> ○どのように書いたら読みやすくなるか、目的や状況に応じてどのように判断して書けばよいのか等考えてみたことを実践して確かめるという学習の構造化を図っている。</p> <p><主体的に学習に取り組む態度を養う工夫> ○「書く→分かる→書いて確かめる→振り返る」という学びの手順が分かりやすく示されている。 ○学習したことを教科書に書き込める欄があり、振り返りができるようになっている。</p> <p><国語に対する関心を深め、国語を尊重する態度を育てるための工夫> ○目的や・相手を意識して書くなど、実生活に活用できるようになっている。 ○他教科・学校生活の中で書く活動の場面を取り上げている。</p>						
<p>資料</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○全体的に色が薄めで、目に優しい。イラストや写真が少なめである。 ○振り返りでは、1つのイラストと○印で、書くようになっている。 ○男の子と女の子が吹き出しでポイントを説明している。 						
<p>表記・表現</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○毛筆で学んだ字形などを、硬筆にも生かして書き込み欄が多い。 ○色や指示が明瞭になっている。 ○穂先や腕の動かし方を部分ごとに絵で示している。 						
<p>総括</p>	<p>○児童の発達段階を考慮した内容と構成になっている。各教材の最後に、自己評価の観点を示し、児童の意欲を喚起するようになっている。また、理解したことをすぐ書き込めるように、書き込み欄を随所に設けている。書字が文化であることを気づかせるため、書き初めを全学年で取り上げたり、文房四宝（筆・硯・墨・紙）の作り方を取り上げている。</p>						

種目（書写）

書名		17 教出
項目	小学 書写	
教育基本法、学校教育法の下、小学校学習指導要領の教科の目標とのかかわり	<p>○場に応じた書き方を身につけられるように、また、読み手に配慮した書き表し方を考えて表現する力が身につくように、配慮されている。</p> <p>○日本語の美しさを体感できるような教材や文章を選定している。</p> <p>○「学習の進め方」を掲示し、主体的に学習する能力が高められるよう工夫している。</p>	
特色	内容	<p>＜基礎的・基本的な知識・技能を習得する工夫＞</p> <p>○各学年、鉛筆の持ち方、筆の持ち方が巻頭に折り込みで2段階に掲載されている。</p> <p>○用具の準備や後片付けの手順が説明されている。</p> <p>＜思考力、判断力、表現力等を育成する工夫＞</p> <p>○ 墨をつけた筆の穂先に朱墨をつけて書いてみると「穂先の通り道」が分かる。筆の運び方、筆圧などが分かるように示されている。</p> <p>○一ますを4つの部屋に分けどこから書いたらよいか字の形やバランスを考えながら書くことができる。</p> <p>＜主体的に学習に取り組む態度を養う工夫＞</p> <p>○「巻末のページには、「しょしゃのたいそう」（1年生）のコーナーがあり、イラスト付きで「おれ、まがり、はらい」などの体を使いながら書くことを学習できる。</p> <p>○「トライあんどチャレンジ」のページが単元ごとの終わりにあり、習得したことを日常生活に生かして活用できるようになっている。</p> <p>＜国語に対する関心を深め、国語を尊重する態度を育てるための工夫＞</p> <p>○国語の教科書から、「おおきなかぶ」「枕草子」などの一節や言語活動で手紙や新聞の書き方が取り上げられ、抵抗なく国語と関連させながら学習できる。</p> <p>○巻末には、カラーで手書きの漢字の一覧表が2学年分折り込みで載せてある。</p>
	資料	<p>○表紙裏に、えんぴつの持ち方、筆の持ち方などの写真とイラストが載っている。</p> <p>○はらったり、とめたりというところで、動物が遊具や用具で動作しているイラストを使っている。</p> <p>○筆、墨、硯、紙などの作り方が写真入りで載っている。</p>
	表記・表現	<p>○朱墨や墨の濃淡で、筆運びや穂先の位置が分かりやすく表記されている。</p> <p>○「トライあんどチャレンジ」で、学んだことを他の用紙や形式に活用できるよう、場面に応じた書き方のポイントが具体的に解説されている。</p> <p>○3年生以上では、学習のめあてが記号で統一され示してある。</p>
総括	<p>○学習内容や手順が明確に示され、児童が主体的に学習できるような構成となっている。また、基礎・基本の確実な習得の上で、他の学習や日常生活に活用できる力の育成を考慮している。各学年の硬筆教材は、国語との関連を考え、国語の教科書から取り上げている。全学年において、裏表紙に、鉛筆・筆の持ち方の写真を取り上げて、いつでも確認できるようになっている。</p>	

種目（書写）

書名		38	
項目	書写	光村	
教育基本法、学校教育法の下、小学校学習指導要領の教科の目標とのかかわり	<ul style="list-style-type: none"> ○全ての学習要素を無理なく習得できるよう、発達の段階に応じて、段階的、系統的に教材を配列している。 ○基礎基本の定着を図るため、「たいせつ」を設けている。また、自己評価欄があり、学習の前後を比較し、主体的な学びを喚起している。 ○身近な動物や自然に取材した言葉やイラストを使っている。 		
特色	内容	<p><基礎的・基本的な知識・技能を習得する工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○指でなぞるところもいれながら、文字の形、筆順等を確認しながら学習が進められる。 ○書くときの姿勢・筆の持ち方など分かり易く、見やすく説明されている。 <p><思考力、判断力、表現力等を育成する工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○「たいせつ」「ふりかえろう」が光村図書の「国語」と同様になっている。 ○字形の整え方のポイントが示されている。 <p><主体的に学習に取り組む態度を養う工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○学習の見通しを持たせるために「学習の進め方」が掲載されている。 ○見やすく、分かり易く大切なことが一目で分かるようにのせられているため、児童も意欲的に取り組める。 <p><国語に対する関心を深め、国語を尊重する態度を育てるための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○巻末に漢字の一覧表があり、書き順の番号が書いてある。 ○「もっと知りたい」（6学年）のコーナーで発展的な学習ができる。 	
	資料	<ul style="list-style-type: none"> ○運筆、リズムなどの身体的、感覚的な学習内容を、イラストや図、擬態語などで説明している。 ○毛筆では、朱墨と墨で書かれた文字や基本点画がある。 ○4年生「かまえ・たれ」では、中の部分にシールを貼り、文字のバランスをとらせる学習が載っている。 	
	表記・表現	<ul style="list-style-type: none"> ○朱墨や墨の濃淡で、筆運びや穂先の位置が分かりやすく表記されている。 ○「たいせつ」欄で学習のポイントが整理して明記されている。 ○どちらの書き方がよいか等、よりよい字形を考えさせる場が多い。 ○学習の重点や硬筆など書き込みの欄が多い。 	
総括	<ul style="list-style-type: none"> ○各教材が、課題解決型学習を想定した構成となっている。課題発見から解決までのプロセスを通して、書写の原理・原則を主体的に学び取るとともに、思考力・判断力等を養えるよう配慮されている。基礎・基本の定着を図るために、2年生以上の全教材に、「たいせつ」「ふり返ろう」を設け、ポイントを整理したり、自己評価ができるようになっている。 		

種目（書写）

書名		116
項目		日文
教育基本法、学校教育法の下、小学校学習指導要領の教科の目標とのかかわり		<p>○学習指導要領で、当該学年で学習することと示される指導事項を単元名にし、書写学習の目標を明確にしている。</p> <p>○題材に、子どもの情操や道徳的心情を養う言葉を選定したり、我が国の文化として継承されてきた古典や文学作品を、各教材として設定したりしている。</p> <p>○基礎基本の力が効果的に習得できるように単元構成を工夫している。</p>
特色	内容	<p>＜基礎的・基本的な知識・技能を習得する工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習指導要領で示されている各学年の指導事項が単元名になっており、学習のめあてが明確になっている。 <p>＜思考力、判断力、表現力等を育成する工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主教材で学習したことを、副教材で他の文字を使って確かめ生かす構成になっている。また、副教材は、毛筆学習で習得した書写力を硬筆に生かすための、硬筆の関連学習が充実している。 <p>＜主体的に学習に取り組む工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「考える→確かめる→いかす」の3ステップで学習できるように、主教材では工夫されている。 ・書き込み欄が設けられており、主体的に学習が進められるようになっている。 <p>＜国語に対する関心を深め国語を尊重する態度を育てるための工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「もっと書こう」や「広がる学び」のコーナーでは、日常生活や他教科で、書写で学習したことを活用できるような工夫がある。 ・筆や墨、硯などの資料や、文字の成り立ちに関する資料が提示してあり、書写に興味をもてるようにしている。 ・古典や文学作品を書く教材として設けられており、伝統文化に親しむことができる。
	資料	<p>○全体的に淡い色のイラストで、目に優しい。</p> <p>○考える（かえる）、確かめる（かめ）、いかす（花）のイラストで、順序を説明している。</p> <p>○毛筆では、朱墨と墨で書かれた文字と、墨だけでも穂先以外はうすい墨で書かれている文字とがある。</p>
	表記・表現	<p>○朱墨や墨の濃淡で、筆運びや穂先の位置が表記されている。</p> <p>○「もっと書こう」「広がる学び」のコーナーで、学んだ基礎基本を生かす場面を多く設けている。</p>
総括		<p>○各学年の主教材が、「①考える→②確かめる→③いかす」の三段階を踏みながら、学習できるような構成になっている。毛筆教材のあとに、同じねらいをもった硬筆教材を設定し、知識・理解を深められるようにしてある。低学年では、姿勢・持ち方のページを多く、写真を大きくしたり、ポイントを明示するなどしている。</p>